

会する「天塩の国会議」の場において、国道232号線は沿線住民にとって「命の道路」である認識のもと、

各関係機関へ強靱化対策の早期実行について要望・要請活動を行う。



深澤 博幸

・公衆浴場の更新について  
・深地層研究施設関連について

て 公衆浴場の更新について

町長の令和5年度の執行方針の中で、「公衆浴場を要する公共施設との複合的機能を備えた施設整備機能について検討を深める」とあるが具体的にどのようなものか。

町長 具体的な内容については、町民の皆様の利便性の向上につながる保健及び福祉に係る総合窓口などの福祉機能や患者輸送車両の待合所などの地域交通機能が多世代交流や地域交流が可能な多目的スペース、更新の検討を要する公衆浴場などの憩い、集いの場としての機能や情報発信、特産品

販売などの観光機能、避難所、備蓄品保管庫などの防災機能を兼ね備えた町の拠点の整備に向けて、今年度は第一段階の基本構想の策定を進める。

町長 検討の進捗状況は。多岐に渡る機能を持った施設整備なので、昨年度より、役場関係部署において横断的協議により、構想の方向性をまとめ、2月に常任委員会で説明した。現在は、示した方向性に対する意見等を踏まえ、今月中に基本構想案のまとめ作業を行っている。

て 深地層研究施設について

町長の深地層研究施設の

政治姿勢について伺う。

3期目当選直後の、12月定例会の一般質問の答弁で「今回あまり文章が長かったので500mは省かせていただいた」この文言は町民軽視ではないか。

町長 深地層研究施設に対する姿勢は私が議長時代含め長年、関係機関への要請、要望をしており、答弁の際は、言葉が足りなかった。深度500m坑道の研究の必要性や整備工程の確認、実施に向け、行政報告や広報誌等を通じ、町民皆様に周知させていただく。

町長 町民に還元されている8千100円、昨今の電気料高騰から増額要求する考えは。

町長 国が定める交付規則に基づき、原子力関連施設の現状等に応じて、基本単価が算定されるものであるため、増額は要望しない。

町長 「三者協定を順守してまいります」と言っているが最終処分場、中間貯蔵施設への転用をしないと明言してください。

町長 三者協定は処分場や

中間貯蔵施設にしないことを定めたものであり、これを尊重する考えに変わりはない。

町長 埋め戻しはどのように考えているか。議論する時期だと思いが。



齋賀 弘孝

・明日の農業振興について

平成7年4万554tだった生乳生産乳量は、平成11年4万5千675t、平成26年3万9千244t、平成30年3万5千283t、そして令和4年は3万2千719tである。令和5年は営農計画書の積算で3万800tを目標数量としているが、この目標の出し方はどう思うか。

町長 皆さんの目標の集積でそこはそこで大事と思うが、町で考える目標数は、いろんな施策にこれだけの支援をします、これだけ搾るようにこういう形で補助しますという

町長 そのとおりだと思う。その団体がまとめて少なく

町長 第3期及び第4期中長期目標期間を目途に取り組む。その上で、国内外の技術動向を踏まえ、地層処分分の技術基盤の整備完了が確認できれば、埋め戻しを行うものとして認識している。

形で出てきている以上は、今の現状ではなく更に一歩伸ばした、一歩伸ばしてもらったための施策だから、目標値が現状維持という話では政策というものが何もないのではないかと気がする。

町長 議会の場合は、農業団体のやりたい施策を、町の地域未来のために、どうしたらうまく進められるのか、近づけられるのか、価値あるものにできるかを話すのか、一般質問より先だと思

町長 そのとおりだと思う。その団体がまとめて少なく